

◆「倭人伝」記載の王族／「記紀」王系の対比
 「倭人伝」に登場する王・ヒミコを取り巻く人物は、「記紀」にある王系と見事に合致します。

「倭人伝」

もと男子を以て王と為す……女王ヒミコ……②男王立つ……③ヒミコの宗女トヨ十三歳を王と為す

①男弟ありて 佐けて国を治める

④夫婿なく

⑤男子一人ありて辞を伝える

【伊都国】⑥世よ王あるも、皆女王国に統属

【狗奴国】⑦狗奴国の男王ヒミコと素より和せず

「記紀」

神代七代（国常立）伊奘諾……大日靈貴……②火明饒速日……③笠縫邑で天照大神を奉る豊鍬入姫

→大倭遷座 →大倭降臨 （天火明の遺児、天照大御神の侍女）

（向津姫、日神の天照大御神）（火瓊瓊杵の児・海幸彦）

※その後、火明饒速日は自ら天神に昇り女王の上に立つ

④向津姫に婿入り後、伊奘諾に叛いた天照大神（高皇産靈）

一二〇年代に急逝。直後、日神は天照大神の跡を継ぎ女王に立つ

⑤伊奘諾の児・蛭児（大倭に人質に送られた蛭子、天之事代主）

【伊都国】⑥伊都国王朝末裔の王族、天安河（筑後川）河上に座す伊都（稜威）之尾羽張神

【狗奴国】⑦西都市妻から薩摩川内に遷る天孫火瓊瓊杵（天照大御神の孫）